

概要

【目的】

相談支援従事者等研修（以下「研修」という。）を、円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【年間活動方針】

- ・実習説明会の内容と実習対応のバックアップについて検討する
- ・ファシリテーターの育成について検討する
- ・行政向け「私たちが目指す相談支援専門員の姿」を作成し、相談支援専門員の役割を伝えられるようにする
- ・初任者研修へのサポーターの参加について検討する

【委員構成】五十音順、◎委員長、○副委員長

	氏名(敬称略)	所属
1	○稲垣 藍	社会福祉法人山鳥の会 中央区立子ども発達支援センター
2	神作 彩子	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 大田区立障がい者総合サポートセンター
3	芝 美樹子	社会福祉法人あだちの里 あだちの里相談支援センター
4	修理 美加沙	特定非営利活動法人まどか 指定特定相談支援事業所 やどり木
5	○高江洲 幸男	社会福祉法人もくば会 八王子地域生活支援室高尾
6	辻 泰亮	一般社団法人しぐや糸をつむぐ会 コネクトしぐや
7	○蛭川 涼子	特定非営利活動法人自立生活センターSTEP えどがわ
8	藤田 博文	特定非営利活動法人自立生活センター日野
9	古橋 陽介	特定非営利活動法人 江戸川区相談支援連絡協議会 江相連相談支援センター
10	◎吉川 かおり	明星大学人文学部教授
11	横田 勇貴	社会福祉法人ソラティオ 荒川区障害者基幹相談支援センター

【活動状況】

	日程	主な議事
第1回	5月21日	検討会年間活動方針及び計画案について 各検討チームの話し合い
第2回	8月8日	相談支援従事者指導者養成研修（国研修）受講報告について 各検討チームの活動報告および話し合い
第3回	12月15日	サービス管理責任者等指導者養成研修（国研修）受講報告について 各検討チームの活動報告および話し合い 令和7年度相談支援従事者研修（専門コース別研修のテーマ、研修資料の持参方法、検討会への部会設置）について
第4回	3月9日	年間のまとめ及び引継ぎ事項の確認

【検討体制】

- ・全体を俯瞰するための課題別の部会、検討会と研修との連動のための研修別の部会に分かれて検討を進めた。

研修別 課題別	初任者	現任	主任	演習指導者 養成	専門コース 別1	専門コース 別2
内容整理	古橋	高江洲・修理				
人材育成	辻	稲垣・藤田	神作	稲垣	稲垣	神作
サポーター	芝・蛭川		横田	芝		横田

課題別部会 ○部会長

部会名	委員(敬称略)	打合せ回数 ※
内容整理	○高江洲・修理・古橋	4回
人材育成	○稲垣・神作・辻・藤田	2回
サポーター	○蛭川・芝・横田	3回

研修別部会

部会名	委員(敬称略)	協力者	打合せ回数 ※
現任研修	稲垣・修理・高江洲・藤田	4名	7回
初任者研修	蛭川・芝・辻・古橋	5名	5回
主任研修	神作・横田	1名	11回
専門コース別研修1	稲垣	—	8回
専門コース別研修2	神作・横田	1名	3回
演習指導者養成研修	稲垣・芝	—	2回

※オンラインでの打合せ含む

活動成果1 実習説明会の内容と実習対応のバックアップについて検討

- ・地域実習の円滑な実施に向けて、窓口となる区市町村職員と区市町村の選定した相談支援専門員（以下「実習対応者」という。）に研修の目的や実習の意図を理解していただけるよう「実習受け入れガイド」を配布すると共に、実習説明会を実施した。
- ・初任者研修、現任研修の地域実習の違いを比較して確認できるようにスライドを追加した。
- ・地域実習を行うための参考として、他自治体の取り組みを紹介する時間を設けた。
- ・実習を受ける立場となる初任者研修受講者も、実習前に心構えができるよう、初任者研修部会とも連携し、実習の意図を伝えるスライドを初任者研修に追加した。
- ・実習説明会に参加できなかった実習対応者が、後から視聴できるよう、また、説明会に参加した場合も繰り返し復習できるよう、録画した説明会の動画をインターネット配信した。
- ・地域実習の対応に役立つよう、前年度に引き続きスーパービジョンをテーマに専門コース別研修を実施した。

活動成果2 ファシリテーター育成の検討

- ・ファシリテーター説明会で、ファシリテーションスキルの説明を追加した。
- ・演習指導者養成研修（初任コース）受講者向けに、研修1日目の講義動画を後から見直せるよう配信し、視聴回数も多数となった。

活動成果3 初任者研修へのサポーターの参加について検討

- ・サポーター参加の目的について整理した。
- ・導入日程について検討し、初任者研修の3日目に導入することを決定した。

- ・初任者研修のファシリテーターにアンケートを実施し、導入にあたっての課題を抽出した。
- ・サポーター候補者数について、関係団体へ聞き取り（プレ調査）を実施した。

活動成果3 「相談支援専門員役割紹介」資料の作成

- ・令和5年度から検討してきた行政向け「私たちが目指す相談支援専門員の姿」について、「相談支援専門員役割紹介」資料として完成させ、初任者研修の実習説明会より配布を開始した。

活動成果4 研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築する

- ・研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築して年間の活動を進めた。
- ・昨年度に引き続き、研修別、課題別、それぞれの部会がクロスするような配置にすることで、効果的に進めるようにした。
- ・研修別部会には元検討委員や各研修のファシリテーターに協力者として参加していただいたことで、研修に携わる人材が循環できるよう工夫した。
- ・双方の活動に参加することでの負担感の増加については、検討会内で部会ごとの話し合いを持つことにより軽減できるよう取り組んだ。

活動成果5 その他

- ・厚生労働省主催の相談支援従事者指導者養成研修会（6月及び3月）及びサービス管理責任者等指導者養成研修専門コース別研修部分（9月）に参加し、得た情報を第2回、第3回検討会で共有した。

来年度に向けて

【引継ぎ事項1 実習説明会の検討と実習対応のバックアップについて】

- ・効果的な地域実習のために、地域実習対応者が実習説明会に出席してもらえるよう、区市町村をととして働きかける。
- ・実習説明会等での区市町村の取り組み紹介を継続する。
- ・実習対応のボトムアップにつなげられるよう、引き続きスーパービジョンをテーマにした研修を実施する。

【引継ぎ事項2 ファシリテーター育成の検討】

- ・ファシリテーター説明会で使用するファシリテーションスキル説明用のスライドを、人材育成部会で作成する。
- ・演習指導者研修受講者がファシリテーターを担う際に不安を感じるとの声があることから、ファシリテーター説明会において、演習指導者養成研修受講者を中心にフォローが行われるよう、メインファシリテーターに働きかけるなどの仕組みを検討する。また、初任者研修および現任研修において初めてファシリテーターを担う方についても、メインファシリテーターを中心としたフォローが行われるよう、同説明会で依頼する。
- ・演習指導者養成研修受講者がスムーズに演習指導が行えるよう、メインファシリテーターが追加・変更したスライドはあらかじめ令和8年度の進行スライドに組み込む。
- ・補助教材（演習指導者養成研修受講者向けの動画）については、アンケートの回答により今後の実施を検討する。

【引継ぎ事項3 「相談支援専門員役割紹介」資料の活用についての検討】

- ・引き続き、実習説明会等で配布するとともに、研修教材への導入について検討する。
- ・検討会委員等が実際に資料を活用し、その際の意見や感想を集約しておく。
- ・令和8年度初任者研修から研修資料のなかに導入できるよう、各研修部会へ引き継ぐ。

【引継ぎ事項4 地域資源調べ資料について検討】

- ・令和7年度の主任研修の結果も踏まえつつ、令和9年度現任研修からの使用を目指し、書式を検討していく。

【引継ぎ事項5 初任者研修へのサポーターの参加について検討】

- ・サポーター導入に合わせ、初任者研修のプログラムや教材の見直しを行う。
- ・サポーター候補者の募集要件の調整を行い、周知・募集方法について具体案を検討する。
- ・サポーターの役割を明確化する。
- ・ファシリテーター、サポーター双方への説明の機会の方法を検討する。
- ・3障害当事者に参加してもらい、演習をプレ実施する。
- ・ファシリテーターとの円滑な関係づくりのための、サポーター用プロフィールの検討を行う。
- ・用語集の作成の検討を行う。
- ・ファシリテーターやサポーターが安心して演習を進められるような方策を検討する。
- ・サポーターの導入が受講者にとって効果的な内容となるよう検討する。